

被害を防ぐには？

- ①屋外清掃や庭の手入れの際には必ず軍手などの手袋を着用してください。
- ②巣らしきものを発見したらぜったいに素手でさわったりしないでください。



駆除及び防除方法は？

- ①一般家庭用スプレー式殺虫剤を吹き付けるか踏みつぶすようにしてください。
- ②卵のうは薬剤が効かないため必ず踏みつぶしてください。
- ③移動としては車や自転車のほか様々な資材などに付着して運ばれるケースがほとんどで完全な駆除は難しく生息しやすい場所の定期点検が不可欠となります。



かまれたときの症状は？

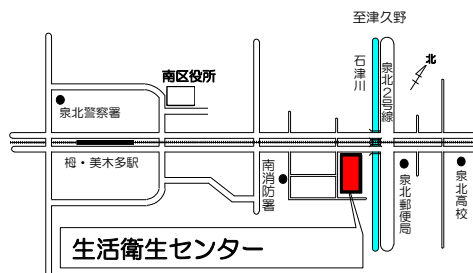
- ①チクリと針で刺したような痛みを感じます。
- ②かまれた部分の周りが腫れて赤くなります。
- ③悪化すると痛みはしだいに全身に広がり、多量の汗をかいたりさむけ・吐き気などがあらわれることもあります。

かまれたときの処置は？

- ①かまれた箇所を流水で洗い流します。またアイスパックなどで冷やすと痛みを緩和できる場合があります。
- ②多少出血があっても包帯や止血帯はしないほうがよいでしょう。
- ③医療機関で治療を受けてください。かまれたクモを持参すると適切な治療につながります。



生活衛生センター全景



お問い合わせは

堺市 保健所 生活衛生センター

〒590-0132

堺市南区原山台1丁14番13号

TEL 072(291)6464 FAX 072(291)6465

堺市行政資料番号

セアカゴケグモ

素手でつかまない！
さわらない！



おしりに赤いもようが目立ちます！

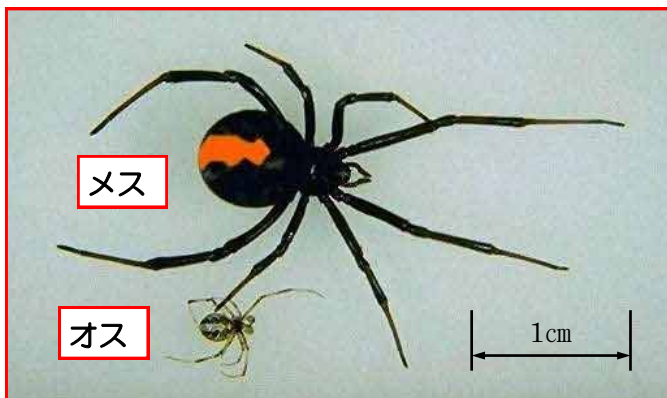


おち葉がからまっている巣は要注意！

堺市 保健所 生活衛生センター

はじめに

セアカゴケグモは大阪府各市で発見されています。このクモは毒をもっていますが突かれると驚いて死んだふりをするなど比較的小となしい性質です。むやみに人に危害を加えることはありませんが、万一の被害を防ぐため正しい知識を持ちましょう。



メス

体長は約1cmで全体的に黒く、丸い腹部の背面と腹面の中央には赤色の模様が目立ちます。

オス

体長は約0.5cmで腹部が細く、背面は黒色か褐色。腹部の腹面にのみ赤い模様があります。交尾後、メスに食べられてしまうことが多いため通常はほとんど見られません。

卵のう

約200個の卵が入った球形の袋で、直径約0.5～0.8cm。色は乳白色又は黄褐色です。卵の数の約1割が生残ると言われています。

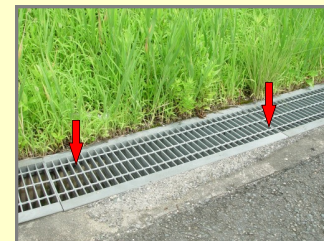
巣

粘り気が強くしっかりとした糸を張るため、たくさんの落ち葉などがからまっています。比較的低い位置への栄養が多く見られます。

生息しやすい場所は？

セアカゴケグモが実際に生息している所は物陰ですが、周囲は日当たりが良く乾燥しているところを好みます。人工的な場所で多く見られ樹木や草むらにはほとんど生息しません。

身近なところでは・・・？



排水溝のふたの裏や側面



自転車やバイクのサドル・泥よけの裏



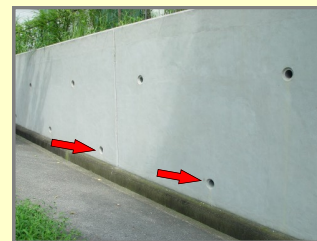
建物基礎に設置された水切り板の裏



プランターの持ち手部分



屋外に放置された履物



よう壁等の水抜き管内



公園の遊具